

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 倫理委員会のホームページで公開を希望

URL

承認番号	3960
研究課題名	子宮内膜間質肉腫の組織型別予後と治療法に関する調査研究
研究の意義・目的	本邦における子宮内膜間質肉腫 (endometrial stromal sarcoma: ESS) の疫学、組織診断、治療内容、治療成績及び転帰に関して後方視的に検討する。
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2020年12月31日
研究対象者の範囲	2002年1月1日～2012年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院の婦人科で、子宮内膜間質肉腫の治療をされた患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録に記載されているデータ (年齢、身長、体重、妊娠分娩歴、月経歴、既往歴、合併症、初発症状、術前診断、術後病理診断、進行期、治療内容、再発の有無、最終転帰、等)
利用者の範囲	共同研究機関に試料・情報を提供する 他施設が共同研究の代表施設である 研究成果を公表する
研究機関の情報	北海道大学病院産婦人科 (渡利英道)、札幌医科大学産婦人科 (齊藤豪)、岩手医科大学産婦人科 (杉山徹)、東北大学病院産婦人科 (新倉仁)、筑波大学医学医療系産婦人科 (佐藤豊実)、茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター産婦人科 (沖明典)、群馬県立がんセンター婦人科 (中村和人)、防衛医科大学産科婦人科 (高野政志)、埼玉県立がんセンター婦人科 (横田治重)、埼玉医科大学総合医療センター産婦人科 (関博之)、千葉大学医学部婦人科 (三橋暁)、東京慈恵会医科大学附属病院柏病院産婦人科 (高野浩邦)、国立がん研究センター中央病院婦人科/乳腺・腫瘍内科 (加藤友康)、がん・感染症センター都立駒込病院婦人科 (八杉利治)、東京女子医科大学産婦人科 (松井英雄)、慶應義塾大学産婦人科 (青木大輔)、東京慈恵医科大学附属病院産婦人科 (岡本愛光)、がん研究会有明病院婦人科 (竹島信宏)、東京大学医学部産婦人科 (織田克利)、順天堂大学医学部附属順天堂医院産婦人科 (寺尾泰久)、NTT東日本関東病院産婦人科 (角田肇)、神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター婦人科 (加藤久盛)、北里大学医学部産婦人科 (恩田貴志)、新潟県立がんセンター新潟病院婦人科 (笹川基)、新潟大学医歯学総合病院産科婦人科 (榎本隆之)、信州大学医学部産科婦人科 (塩沢丹里)、静岡県立静岡がんセンター婦人科 (平嶋泰之)、愛知県がんセンター中央病院婦人科 (水野美香)、名古屋大学医学部産婦人科 (吉川史隆)、京都大学医学部附属病院産婦人科/婦人科学産科学教室 (万代昌紀)、大阪市立大学医学部附属病院産科婦人科学 (角俊幸)、大阪国際がんセンター婦人科 (上浦祥司)、大阪市立総合医療センター婦人科 (川村直樹)、大阪医科大学産婦人科 (大道正英)、兵庫県立たんセンター婦人科 (山口聡)、鳥取大学医学部産婦人科 (大石徹郎)、国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター産婦人科 (木之江知哉)、国立病院機構四国がんセンター婦人科 (竹原和宏)、愛媛大学医学部附属病院産婦人科 (松元隆)、国立病院機構九州がんセンター婦人科 (齊藤俊章)、久留米大学医学部産婦人科 (牛嶋公生)、九州大学病院産婦人科 (園田顕三)、佐賀大学医学部産婦人科 (横山正俊)、熊本大学医学部産科婦人科学分野 (片淵秀隆)、鹿児島大学病院産科/婦人科 (小林裕明)、鹿児島市立病院産婦人科 (中村俊昭)、琉球大学医学部附属病院産婦人科 (青木陽一)
代表施設のURL	http://www.niigata-cc.jp/treatment/fujin.html
研究成果を公表する方法	研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌で公表する

試料・情報の提供方法	匿名化されているもの（どの研究対象者の資料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る。）を提供する。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	菊池 朗（新潟県立がんセンター新潟病院婦人科）
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	電話番号 06-6645-3862 産婦人科医局 担当：福田 武史